

地域密着の情報共有フリーペーパー

2017年7月1日 お！宮町地域情報編集局 発行



038PRESS

vol.25 夏号

宮町のイベントキャラクター
みやっち

お み や プ レ ス



夏の延寿院

今季の特集
P2~P4

仙台七夕と 小田原遊郭

P4……東六万燈会の歴史

P5……第24回お宮町なるほどツアー

P6……NEWS&TOPICS（地域情報）

P7……東京余話 vol.19 / 第25回教えて浄圓房さん！

P8……学校行事予定 / Omiyamachi ほっとすぺーす No.12
／ペットにまつわるワンダーランド第7回



編集

お！宮町地域情報編集局
〒980-0012 仙台市青葉区錦町二丁目4番48号
(東六コミュニティ・センター内)
TEL 090-7932-5021 (千葉)

ホームページ [038 プレスへようこそ](#) [検索](#)

ブログ [おみやプレスのブログ](#) [検索](#)

宮町商店街のホームページ お宮町・混む <http://omiyamachi.com/>

仙台七々と 小田原遊郭



今回インタビューをさせて頂いた
浅川駒治さん

小田原遊郭から仙台七々は始まった

浅川さんは、戦前からお母さまがこの地に住まい、ご自身も地域の歴史資料を集め写真を撮影したなど、往時に思いを馳せ語って頂きました。

「明治27年、常盤町（現在の市民会館の辺り）にあった遊郭が現在の（通称）旅籠町に移転され、小田原遊郭と呼ばれました（新常盤町遊郭とも言われました）。小田原遊郭では『仙台盆踊り』や『仙台七たまつり』が盛大に行われ、七々発祥の地と言われたんです。七々やお盆には、遊郭の南、北一番町通りに面した大門は開放され、遊郭に縁のない女性や子供達、近隣在郷から大勢の人が押し寄せ、大いに湧いたと母に聞きました。」現在の「仙台七たまつり」の原形は、常盤町遊郭がこの地に移転してきた明治27年から続く「まつり」に起源があると、写真や資料を見ながら笑顔で説明する浅川さん。

「戦前戦中は、陸軍第二師団や歩兵第四連隊を擁した仙台は軍都の色が濃く、休みの日ともなると軍人さんが4列に整列して行進してきて楼閣に並んだそうです。当時は日常生活に対する統制も強まり、食べるのにも困っていた時節だったけど、隆盛を極めた常盤町遊郭だけは全般的に生活物資の不足は感じられなかったと聞きました」と浅川さん。

終戦後、喧噪や営み、女性らは東八番丁や元寺小路、名掛丁にエッ

色とりどりの短冊が風にたゆたう。人びとが往来を埋める。人と人が幾重にも交錯し、思い出が生まれる――。

東北三大祭りの一つに数えられる「仙台七たまつり」まで今年もあわすか。今でこそ、仙台市中心部が祭りの中心となっていますが、その歴史をひもとけば、小田原が発祥のひとつだといえます。明治から戦後間もなくまで栄華を極めた花街の楼主や女性たちが始めたのがこの起こりなのだそうです。今号の巻頭特集は、宮町に60年以上暮らし、宮町の街の変遷を見続けてきた「生き証人」浅川駒治さん（87）に宮町北一番丁通りにお話を伺いました。七々から出発し、街並みや人々の暮らしぶり、商店街の移り変わりなどにも話が及びました。

クス橋付近に移り、また近隣の小料理屋さんで働くようになった女性もいました。

昔が生きる町、それが宮町

花街として繁栄を極めた小田原新常盤町。最盛期には30を超える遊郭が立ち並んでいたといえます。それも今は昔。面影を残す建物はほとんどありません。「昭和21年を境に遊郭を閉じ、旅館などに商売替えをする人も多かった」と浅川さん。遊郭だった建物は旅館として使われ、「旅籠町」の名のとおり、宿屋が居並び町へ。主に北東北からやって来た修学旅行生たちを受け入れ、当時駄菓子屋さんを営んでいた浅川さんの店先には、朝になると学生さんが大勢並んだそうです。

大相撲・仙台巡業の際にも、力士の定宿になっていたという歴史も。古くから宮町で暮らす人の中には「幼いころ、高見山関に抱っこしてもらったなあ」というエピソードも飛び出します。

多くの人を収容できる「遊郭」という建築物は集合住宅に転換された事例も。「五城楼」というとても大きな遊郭がありましたが、暖簾を下ろした後は30もの世帯が暮らすアパートに変わりました。

小田原遊郭に飾られた七々かざり



小田原遊郭の範囲



現在の宮町の七夕かざり

歴史に見る小田原遊郭

しかし、隣接する小料理屋が火元の火災で焼失したのは45年も前。まちの歴史を語る建物はなくなっていました。

和洋中の飲食店に酒場が雑然と並んでいる、それが宮町に対する筆者の第一印象。これも花街だった歴史と結びつくのでしょうか。

浅川さんは「そうだねえ、とくに北一番丁通りの道の両側に小料理屋が並んでいてにぎやかだった。飲食店が多いのはその名残なのかもしれないですね」。ついでに言えば、宮町は履物屋や魚屋に酒屋、髪結い床(美容院)が多い気がします。それも花街だった昔に起因していると言います。

浅川さんが商店街の役員をしていたころ、商店街の加盟率も八割くらいあって、120店舗を数えたそうです。この数十年で商店も様変わりし越して来る人もだいぶ増えました。まちを語り継ぐ浅川さん。今、目で見えることはできないけれど、歴史的な背景はしっかり今に生きている。それを感じたインタビューでした。

昔が生きる町。それが宮町なのです。

仙台では、明治になり西南戦争後に帰仙した軍人に恩賞が支給されたことにより一時的に遊郭を繁栄させ、貸座敷は増え続けました。その後、国分町周辺に散在していた貸座敷を、北一番丁通りの西のはずれ(現・仙台市民会館周辺)に集積し「常盤町遊郭」と称しました。しかし陸軍第二師団に近く、将校クラブ偕行社が設置される事や、日清戦争に伴う綱紀粛正により移転話が立ち上がり、北山町や東照宮の敷地内などと共に、常盤町と同じ北一番丁通りの東はずれの小田原蜂屋敷跡が候補の二つに上がり、県知事や市議会、貸座敷の楼主を交え大論争を巻き起こしました。候補地の一つとなつた小田原の地は敷地面積が約4.7haと広大な土地で、仙台城下町の第3次拡張で延宝年間(1678~1681年)に「小田原八丁」が町割りされた「小田原蜂屋敷」跡でした。論争4年目の1894年(明治27年)になり最終的に小田原が選定され、遊郭が移転。新遊

郭の名称は「比翼町」や「八重垣町」などが候補となり紆余曲折のすえ、新常盤町となりました。

公娼制度は昭和21年にGHQにより廃止、売春防止法の施行により、1958年(昭和33年)3月31日根絶。終戦後徐々に楼閣跡は旅館に衣替えし通称を「旅籠町」に改称。遊郭で亡くなった娼妓で無縁仏となった女性北六番丁「万日堂」の「仙臺睦之墓」(1904年建立、戒名は「慈照妙喜信女」)に葬られました。移転当初の貸座敷数は19軒で、1901年12月末には大楼が8、中楼が11、その他が16の合計35軒と増加し、娼妓の数も263人となりました。規模の拡大と都市化にともない大正期に入ると、楼主らは「心を結成、娼妓の取締の強化や教育にも着手。さらに「仙臺貸座敷従業員組合」昭和會規約により多くの制約を受けました。遊郭をめぐる状況とその変化は、「軍都」と呼ばれるようになった軍人の街仙台を映し出すひとつの鏡と言えましよう。



浅川さん所有の従業員規約



(※1)当時の新聞「東北日報」明治27年8月8日版「遊廓たより」に掲載。【歴史に見る新常盤町遊郭】に詳細

(※2)詳細は仙台が舞台となった小説に詳しい：高城高「×橋付近」1955年 熊谷達也「いつか×橋で」2008年

(※3)小田原蜂屋敷の逸話は今号の「教えて浄園房さん」にて掲載

(※4)「新遊廓の名称未だ定まらず」『東北日報』明治27年4月13日版。

町名の変遷メモ

- ①明治11年～明治27年の間、現在の市民会館付近には遊郭が集積しており、「常盤町」と呼ばれていた。
- ②明治27年に常盤町遊郭が小田原蜂屋敷に移転。「新常盤町（小田原遊郭）」と呼ばれるようになった。
- ③昭和21年に公娼制度廃止。新常盤町は、旅館が連なることから（通称）「旅籠町」と呼ばれるようになった。

現在の小田原の様子

新聞記事に残る 新常盤町

当時の新聞で取り上げられた記事を紹介しましょう。^{※5}「……斯る人出は遊廓移転以来始めて見る処にて、之が為めに各楼とも相応の来客ありて頗るに賑へり、而して小田原新丁、車通辺は昼さへ通行人の稀なる処なるも同夜は往來の繁きこと近年其比を見ざる処なりし」と報じられたように明治27年に移転した新常盤町で初めて行われた七夕まつりは名を馳せました。各楼や働く女性が意匠を凝らした飾り物が人々を魅了し、普段は縁のない子供や女性らと近郷近在から集まった実にも多くの人々が見物に訪れたと記録。一方、遊郭の開業は帝国大学の学生や軍人、商人など新たな人の流れを生み出しました。^{※6}「小田原宮町は職工又は日雇人等多く借家し居る処なるが、新遊廓の同所に移転せし以来家賃騰貴せしを以て、夜立して移転する者多きよしなり」と新聞でも指摘されたように、遊郭移転は周辺地域の開発の呼び水となり、地価と家賃を高騰させ、常盤町の移転は仙台市の都市構造に一定の変化をもたらしました。

△取材・文：水沼幸三・千葉富士男 写真：戸部俊彦△

（※5）「遊廓たより」『東北日報』明治27年8月8日版。

（※6）「借家賃の騰貴」『東北日報』明治27年3月29日版。

東北日報は力健治郎氏により明治30年に買収された後、河北新報に継続された。

出典：明治期の仙台市における遊郭移転問題と都市社会「空間・社会・地理思想20号」

△考察・文：千葉富士男△

東六万燈会の歴史

「万燈会」は長年弘道会主催で行われてきましたが、平成20年（2008年）から東六地区連合町内会の主催、東六小学校・PTAの共催に形を変え、3年に一度開催されています。『復活第1回万燈会（昭和28年）』から数えて、今年は第66回目を迎える事になりました。児童一人一人が描いた燈籠の絵の中に灯されるローソクの火は、今迄思わずやつてしまった悪い事、失敗したこと、怠ってきた事などの「煩惱」を消すと言われ、万燈の灯りに許してもらい、強くたくましい気持ちになつて、これからの学校生活に夢を築くという意味が込められています。

万燈会の起源は、今年で開校144年を迎える東六番丁小学校がまだ尋常小学校と呼ばれていた大正11年（1922年）に、開校50周年記念として開催されたのが始まり

です。児童や学校と地域、家庭と連携しながら、中秋の名月の晩に、亡くなられた同窓の先輩や先生、親しい方の霊を弔ったのが始まりです。その後、昭和10年（第12回）まで続いて来ましたが、戦時中に中断を余儀なくされ、戦後日本の復興を遂げた昭和28年（1953年）開校80周年記念『復活第1回万燈会』を開催。昭和56年（1981年）までは、毎年8月のお盆前後開催されて来ましたが、昭和58年（1983年）開校110周年記念『第28回万燈会』を機に、3年に一度の開催となり、その間の2年間は「夏まつり盆踊り大会」として、仙台市立東六番丁小学校の伝統行事として開催が続けて来ましたが、6年後の2003年には、開校150周年記念万燈会を迎える年になります。

『第66回東六万燈会・夏まつり』のご案内

- 日時** 平成29年8月19日（土）
16:00～20:00 ※雨天中止
- 会場** 仙台市立東六番丁小学校（校庭）
- 主催** 東六地区連合町内会
東六万燈会夏まつり実行委員会

第24回お宮町なるほどツアー 身近な商店街を巡る旅

今回のツアーは、宮町3丁目にあるエービーエステートと、国際通り（通称）のタンポポを巡りました。人と地域を結ぶ不動産屋さん、友達の輪が広がる喫茶店、そこで宮町を元気にしたいと頑張る経営者に会いました。



ママの手作りランチで憩いのひと時を

コーヒーショップ「タンポポ」

「私の母が床屋をやっていた場所を改造して喫茶店を始めました。丁度息子が小学校に入る時期だったので、鍵っ子にしたいということもありました。昭和62年7月の開店以来31年。日替わりランチを提供しています。」と話すオーナーの福田京子さん。ランチ目当ての常連さんも多く、開店時間からお昼までの時間は中高年の男性陣、午後は女性達で賑わっています。人気の秘密は、お袋の味。メイン料理はもちろん副菜の煮物やサラダもママの手作りです。日替わりランチ 600円 + 120円で飲み物付きに。週替わりランチやおにぎりもあります。また、お客さんどうし、くつろいでおしゃべりを楽しむ「しゃべり場」的雰囲気も魅力となっています。

営 11:00~17:00 休 日曜・祝日
住 青葉区宮町 2-2-21 TEL 022-224-2232



日替りランチ600円



オーナーの福田京子さん

不動産をメインに幅広い事業を展開

エービーエステート

「平成12年宅地建物取引主任者に合格したことをきっかけに平成13年有限会社エービーエステートを設立しました」と社長の阿部倫明さん。現在は株式会社に組織変更し、不動産だけでなく建築、コンサルティング、飲食事業、コインランドリー事業など、幅広く新たな取り組みにチャレンジしているとエネギッシュな会社です。

また、町、地域に貢献することが企業の一使命と考えており、地元バスケットボールチーム89ERSのスポンサーを通し、子供たちに夢、憧れを、町に元気を与えてくれています。

もちろん不動産業が本業であり、不動産業のイメージが少しでも良くなるために、宅建協会の理事、相談員も行っています。「地域の方々から気軽に不動産の相談をしてほしいですね」と話し、地域の方々に慕われる「宮町の相談窓口」を目指しています。

営 9:30~18:00 休 毎週水曜、第2、4日曜、GW、夏季、年末年始
住 青葉区宮町 3丁目 8-33 TEL 022-217-0033



スタッフの皆さんと阿部社長(右)



次回のご案内

今回は右の2店を巡ります。参加希望の方は、氏名・連絡先を明記のうえ、メール、またはFAXでお申込みください。

- ① クリーニング洗たくや
- ② 里見窯(陶芸体験)

メール info038press@gmail.com
FAX 022-223-7988

日 時 平成29年7月29日 土 15:15 ~ 17:00
集合場所 15:15 ペットショップさまん前
会 費 1000円(陶芸体験費)

東六番丁小学校同窓会の 役員会新体制が発足しました

明治6年に開校し今年で144年目を迎える東六番丁小学校では、3月9日に28年度卒業生62名を新たに同窓会会員に迎え入れる入会式を行いました。同時に同窓会役員会（幹事会）を開催し、29年度以降の役員の体制を次のように一新して、今後は6年後の開校150周年に向けて、学校、PTAと緊密に連携・協力していくことに致しました。

新体制

会 長 針生 英一（S 46／3月卒）
副会長 松木 景二（S 31／3月卒）
副会長 鈴木 真弓（S 44／3月卒）
監 事 太田 幸世（S 58／3月卒）

又、新年度から阿部義忠（S 30／3月卒）、錦織是篤（S 35／3月卒）鹿野秀一（S 44／3月卒）中川正己（S 52／3月卒）、遠藤 香（S 59／3月卒）の5氏が新たに役員（幹事）に就任いたしました。

尚、今泉清二（前会長S 23／3月卒）、斉木 豊（前副会長S 21／3月卒）、佐藤宗男（前幹事S 19／3月卒）の3氏は今回それぞれ退任し、今後は「同窓会校友」として協力していくことになりました。

同窓会に関するお問い合わせ先
☎ 225-6745
校友代表 今泉まで

第 66 回中江夏まつりを開催します

震災の経験や被災された方々の事を忘れずに、絆や思いやりの大切さを改めて考え、さらに元気になりますよう、みんなでつくる夏まつりを開催いたします。

開催日 平成29年8月19日(土) ※雨天の場合は、翌日20日(日)に開催
場 所 中江公園
内 容 子供神輿行列、花火大会、演芸大会、
抽選など模擬店(焼き鳥、ビール、ジュース等)
主 催 中江地区町内会連合会



桜満開・快晴の中で実施した「ぶら宮町」

前号では「お宮町界隈の桜を巡る」という特集記事を掲載しましたが、紙面と全く同じルートを実際に歩いてみようということで、「ぶら宮町第2弾」を企画しました。桜の開花日を予想するのは難しく、「まだ咲いていなかったらどうしよう」とか、「もしかしたら葉桜になっているかも」などと心配しましたが、開催日の4月16日はまさに満開の日にぴったりはまっただけでなく、天気も快晴に恵まれ、一般参加者7名の方々と、約2時間30分にわたり楽しく健康的な桜巡りを行うことができました。

今後も様々なテーマ、切り口で「ぶら宮町」を企画してまいりますので、ご期待ください。



仙台の町内会の名の由来②

宮町東裏丁「東裏丁町内会」

小田原北一番丁通（国際通り）から小田原振袖丁までの南北の通り。宮町通りは仙台東照宮の門前町を形成した商人と町人の通りで、「仙台まつり」が行われた言わば本通り、その東側で、江戸時代は侍屋敷が連なった街なので「丁」の字で宮町通りの裏通りの名を表しています。東裏丁の南に位置する小田原振袖丁は、小田原遺水丁から北上し東折、小田原車通に抜ける通り。1664年（寛文4年）に描かれた絵図によれば、亘理伊達氏の屋敷だったところに、寛永年間に道を作って侍屋敷にしたと伝わります。町名の由来は、①小田原長丁通から小田原車通にぬける道の線形が振袖に似ているから、という説や、②江戸時代、娘に化けた古狸が振袖の袖を振りながら人を惑わすので、剣客狭川新三郎が小柄を投げて退治したという話が伝わりますが、定かではありません。

小田原裏山本丁「裏山本丁町内会」

小田原八丁の一つで、小田原車通から小田原金剛院丁を結ぶ東西の通りが山本丁。今の裏山本丁との角にあった茂庭周防の下屋敷を割って貞享元年（1684年）町が出来て、西北隅に唯一一つの大きな屋敷が割られ山本三郎兵衛というお侍さんが居住していた故事に由来します。山本三郎兵衛は二代藩主忠宗公の小姓から累進して、三代藩主綱宗公の時には給主組士頭で屋敷奉行を兼ねた人物と伝わります。現在も、江戸時代から300年以上住み続ける侍のご子孫も居られる侍町です。



絵本原画展

「いもとようこの世界」
を見に行つた

東京都台東区の上野の森美術館に絵本原画展「いもとようこの世界」を見に行つた。「つるのおんがえし」「あかずきんちゃん」「スーフと白い馬」「しあわせの王子」……。絵本の原画とは思えない芸術性の高い作品が並んでいた。

いもとさんの作品は、和紙を切り貼りし、その上に水彩絵の具で色をつける独特の技法で作られる。そこから生み出される温かくも切ない絵が、物語に奥行きを与える。ご本人に話をうかがうと、きつかけは夕飯を作る時、大根を切つていて得たインスピレーションだったという。

「おでんを作ろうと大根を輪切りしてたの。たまたま薄く切つたら、きれいなよ、繊維が。大根の透き通つたのを見て『ピンポン、和紙だ!』って。脳が勝手に考えてくれたのよね」

それからが試行錯誤。失敗と前進の繰り返しの中で、和紙をベースにした制作技法を確立し「求め続けば与えられる」ことを学んだという。

10年ほど前、60歳近くになつていたいもとは、家からテレビをなくす。そして朝5時に起きて夕方5時まで、ラジオを聞きながら絵本の絵を描き続け

る生活を始めた。

「人生は限られているじゃないけど、誰にもいつかは死が訪れる。テレビが悪いわけじゃないけど、私はやっぱり仕事で生きていたい。自分のことは自分で運転していかないとダメだと思つたんだよ。自分には（絵本を多くの人々に届けるという）目標があるから、その目標に向かって計画を立ててやっていこうとしていくだけです」

話を聞きながら、自分の怠惰さを嘆かずにいられたかったがいもとさんに悲壮感はない。その姿には、好きなことをとことん追求できる喜びが満ちていた。ところで、いもとは「絵本は子供のためというより、母親や父親を意識して作っている」という。そんなこともあり、会社の先輩に展覧会の話をする、と、さっそく見に行つたらしく「僕も親しんだことのある作品ばかりで、ささくれだつ心がきれいに洗われる思いだった」というメールが届いた。

絵本原画展「いもとようこの世界」は6月11日で終わりました。ぜひ、絵本をご覧ください。



かぜのでんわ

第25回



剣客の正体

ねえねえ浄圓房さん、袖振丁の古狸のお話に出てくるお侍さんはどんな人なの？

はいはい承知した。その癖はこういうことじゃ。

※1 仙台市小田原の一角に蜂屋敷と呼ばれる地域がある。そこはもと蜂谷長者といわれた蜂谷定国の屋敷で、江戸時代その一角に栗の古木があった。その頃夜になると老樹の下に、振袖姿の白い顔の女が佇んで、小路を通る人にニタニタ笑いかけたといわれ、その通りは夕方になると通行が途絶えてしまった。それを聞いた剣客狭川新三郎が夕方に出かけると、やはり怪しい振袖姿の女がニタニタ笑いかけた。新三郎が小柄を投げつけると、キャッと声を立て手応えがあつて、女の姿は闇に消えた。翌朝調べると、劫を経た古狸が咽喉を刺されて死んでおり、それ以来妖異は絶えてしまい、誰もなく袖振丁と呼ばれるようになった。その後、誰が建てたのかこの屋敷内に狸塚とよぶ小祠があり、明治の頃まで残っていたという。一説にこの通りの屈折の形が振袖に似ているからともいわれる。という話が伝承し



ておるのう。

徳川將軍家の兵法指南役だった柳生宗矩と懇意にしていた伊達家は、柳生新陰流一門の狭川新三郎を養賢堂の新陰流指南役として招聘した。狭川家は明治に至るまで仙台的の学問所で書生らに剣術を指南したんじや。袖振丁の古狸の話も、剣客として名を馳せた狭川の逸話として今に伝わる話じや。

へえそうなんだあ！すごい！
本物のお侍さんなんだあ！



伊達政宗公と柳生宗矩は昵懇で、慶長13年、宗矩の屋敷で振舞われた酒の美味さに惚れ込み、この酒の杜氏を自家にと懇願。宗矩は大和榎森の又五郎を紹介。又五郎は伊達家の「御城内定詰御酒御用」として召し抱えられ、切米十兩と十人扶持、また「榎森」姓を与えられ、子孫代々御用酒を供し、仙台の酒造りに大いに貢献したと言うぞ。その他、伊達家には宗矩の甥（利蔵の弟）柳生権右衛門も仕えている。伊達政宗公と柳生宗矩の親しさがうかがえるのう。

映画や小説ではない本当の歴史上の人物が、お宮町や東六番丁を闊歩していたなんて実に面白いのう！

出典：

- ※1 宮城縣史 民俗3 財団法人宮城縣史刊行会
- ※2 養賢堂要覧 菊池勝之助編
- ※3 宮城県酒造協同組合「宮城の酒づくりの歴史」

文章…千葉富士男

◆東六番丁小学校	
7 月 6 日 (木)	授業参観 13:30 ~ 14:15
7 月 10 日 (月)	五城中との合同引き渡し訓練 午後
8 月 19 日 (土)	東六万燈会夏まつり
9 月 15 日 (金)	陸上記録会 (6 年)

◆五城中学校	
7 月 7 日 (金)	校内合唱コンクール (東北大学萩ホール) 10 時 ~ 15 時 30 分
9 月 2 日 (土)	五城祭・70 周年記念式典 (五城中学校)

◆北六番丁小学校	
7 月 5 日 (水)	エコハッピーまつり (児童会行事)
7 月 29 日 (土) ~ 30 日 (日)	学校に泊まろう! (北六小おやじの会主催)
9 月 15 日 (金)	陸上記録会 (6 年)
9 月 21 日 (木) ~ 22 日 (金)	授業参観・懇談会

◆常盤木学園高校	
8 月 5 日 (土)	第 1 回オープンスクール
9 月 2 日 (土)	学園祭

何気ない風景に溶け込んだ『まちのこコマ』

Omiyamachi ほっとすぺーす No. 12

今号の表紙画 『夏の延寿院』



夏、草木が生い茂る梅田川のほとりの延寿院。本誌「宮町 Q&A」でもおなじみの浄圓房さんの寺院。
(がんじー)



延寿院の門を潜ってすぐ横にひっそりと佇む「疣神尊」。同院の御本尊として祀られる浄圓坊さんは章駄天の如き健脚の持ち主で、即座に遠方へと往復した逸話が幾つも残っていますが、この疣神尊は浄圓坊さんが羽黒山から持ち帰った石を祀ったもので、水疔などのいぼを取る神様として今もお参りに来る人が多いそうです。
お参りの時にお供えしてある小石をお借りして持ち帰り、毎日その小石でいぼの出たところを撫でると、不思議なことにいぼがコロリと取れるとか。ちなみに治ったら、お借りした小石を倍にしてお返しするのがしきたりだそうです。

犬は、人の笑顔がわかる!

動物から学ぶ。

ベットにまつわるワンダーランド
【第7回】

犬の魅力は、やはり人間との特別な関係性にあります。人の指差し(ポインティング)を理解できるのは、チンパンジーでもオオカミでもなく、犬だけなのです。愛犬に「そこち(方向)」とか「それ(目的物)」を指差しで犬に伝えていませんか? 犬は、指差しに反射的に動いているのではなく、その意味を理解して行動できるのです。チンパンジーは、犬より学習能力や問題解決能力は、圧倒的に優秀ですが、犬は、人とのコミュニケーションができることで課題を解決できるのです。この指差しの認知能力は、犬に特異的に形成された能力と言われており、小さい時から人と生活していたものではないという成長過程で身につけたものではないそうです。犬とオオカミは、ある時点で別々の進化を遂げ、犬は、独自の進化の過程で人の指差しに対して高い認知能力を獲得したのです。
犬は、人間の表情、特に笑顔を見分けることができます。人にとって重要なコミュニケーションは視覚です。犬は、においや音に関して高い能力を持っていますが、人とは共有できないので、犬は人が得意とする視覚でのコミュニケーション能力を持ったのかもしれません。
ですから、愛犬を飼われている皆さんは、手を差し伸べたり、笑顔で対応してさらに豊かなコミュニケーションを図ってあげて、犬と一緒に幸せになりましょう。

※TBCラジオ(1260kHz)

Goodモーニング デイクリック

「ベットにまつわるエッセー」(第2・第4金曜 朝8時30分からの約8分間)に生出演中!

ベットショップさま 佐藤広行

◆ SPECIAL THANKS ご協賛へ感謝を込めて



アエル株式会社様
仙台市青葉区中央1丁目3-1
TEL: 022-723-8000



西松建設株式会社
北日本支社様
仙台市青葉区大町2-8-33
TEL 022-261-8161



ABCORPORATION
株式会社エービーコーポレーション 様
仙台市青葉区宮町3丁目8-33 TEL: 022-217-0033



HARIU Communications CO., LTD
ハリオコミュニケーションズ株式会社 様
本社: 工場 〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2番12号
TEL 022-288-5011 (代) FAX 022-288-7600 (代)
URL http://www.zundonet.co.jp
●営業所: 東京

この情報紙は、地域の情報発信と共有を通じ、地域活性化につなげることを目的としたフリーペーパーです。この趣旨に賛同いただき、より多くの企業や団体、個人の皆様のご協賛を通じて事業を支えてくださいますよう、お願い申し上げます。

編集後記

4月、東六地区連合町内会長に就任し1年がたちました。何とかやって来られたのも、地域の皆さんや学校関係者、各団体の皆様のお力添えやご協力を頂けたおかげと、心より感謝しております。

地域の安全・安心はもとより、住みよい街づくりの努力は、それぞれの行事の中で育まれ、春は桜と音楽のコラボ、夏は東六夏まつり、秋は学区民運動会と、楽しい催しの中から絆が生まれるものと信じ、実施しております。来る8月19日(土)の夏まつりについては、今年3年に一度の「東六万燈会夏まつり」として行われます。当日は、学校児童の皆さんが万燈に描いた絵と、地域の方の慰霊の意を込めた絵を貼った、約500個ほどの燈籠を吊り下げます。ロウソクの明かりを通した万燈の絵が、夕闇の中くっきりと浮き出た幻想的な様子は、子供たちの楽しい思い出としていつまでも残ることでしょう。多くの子供たちや、地域の皆様に楽しんで頂きますよう、盆踊りに夜店、花火や宝くじなど、楽しい企画を沢山用意しております。お誘いあわせのうえ、是非、東六小へお出かけくださいませ。

顧問 足利允鴻

編集メンバー

主筆 海老一朗
編集長 千葉富士男
編集委員 今泉清二
岩瀬弘一郎
加藤久枝
鹿野恵美子
加納実
菊池ゆう子
木村くみ
佐々木敦斗
佐藤正則
佐藤靖
高橋孝敏
永田良治
針生英一

顧問 足利允鴻

アドバイザー 内海睦夫
イラスト がんじー

三岡昭博
三嶋伸一
水沼幸三
和田政宗
(50音順)

038 プレス info



ブログ



ホームページ